

第6次小山市行政改革大綱実施計画 進捗状況調査書

No.	取組項目		担当課・担当係	取組番号	区分
1	行政評価制度運用の強化		行政経営課・行政経営係	1-1-1-001	新規
基本方針	人口減少社会に対応した効率的で質の高い行政経営	大項目 業務の効率化	中項目	民間委託の推進	
取組概要	本市では、平成15年度から事務事業評価を導入・実施しているが、内部評価が所管課の主観であるため、その評価の根拠を明確にすることが必要である。そのため比較可能な成果指標と自治体を設定し、事務事業評価における活動指標及び成果指標値を他自治体や先進自治体と比較検討することで、評価の根拠を明確にし、改革改善に役立てていく。		達成目標	事務事業評価制度の運用強化による事務の効率化、行政コストの縮減	目標年度 H31

推進計画		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
先進自治体の調査・研究	活動計画	▲				
	実施状況		▲	▲		
評価シートの見直し改善など試験的運用	活動計画		●			
	実施状況		▲	●		
ベンチマーキングの試験的導入と本格的導入	活動計画			●	●	●
	実施状況		—	—		
事務事業評価外部評価への民間活力の導入	活動計画					●
	実施状況		—	—		

指標名		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	累計・最終目標	実績	達成率
事務事業評価制度の運用強化進捗度 【算出基礎】 20%：先進自治体の調査・研究 40%：評価シート様式の見直し・改善 60%：ベンチマーキングの試験的導入 80%：ベンチマーキングの本格的導入 100%：事務事業評	目標値	20.0%	40.0%	60.0%	80.0%	100.0%	100.0%	40.0%	40.0%
	実績値	15.0%	30.0%	40.0%					

年度	P 年次計画・目標	D 実施状況・主な取組内容	C・A 課題及び次年度に向けた改善内容
H27	先進自治体の調査・研究	行政評価に関する研修会へ参加するなどし、評価制度のあり方や推進方法を学んだ。 先進自治体の調査は実施できなかった。 進捗度 C 計画よりやや遅い	先進自治体の調査を行い、ベンチマーキングの有効性や導入効果を検証する。 先進自治体を参考にし、評価シート様式を見直す。
H28	先進自治体の調査・研究 事務事業評価シート様式の見直し、改善	ベンチマーキングを用いて行政評価を実施している自治体を研究するための事前調査を行ったが、活用事例が少なく、研究対象自治体を特定することができなかった。 事務事業評価シート様式の見直しのため、評価に必要な要素を再検討した。 進捗度 C 計画よりやや遅い	ベンチマーキングの活用事例が少ないことから、有効性や導入効果の検証を行うことが困難になっている。 総合計画との整合性を図り、翌年度の事業計画及び予算査定に反映される仕組みとなるよう、総合政策課・財政改革課・行政経営課において、あらかじめ評価候補事務事業を選定する。
H29	先進自治体の調査・研究 事務事業評価シート様式の見直し、改善	ベンチマーキングを実施している自治体がほとんどなく、有効性や導入効果の検証を行うことが困難になっている。 内部評価を確実にを行うため、評価に必要な要素を再検討し、事務事業評価シート様式の見直しを行った。 進捗度 C 計画よりやや遅い	従来型のベンチマーキングでは業務改善への活用の可能性が低いとの検証結果があり、それに替わるものとして町田市などでは「自治体間ベンチマーキング」に取組んでいる。両者の比較を行い、小山市の行政評価制度運用の強化に資する手法を取り入れる。 内部評価を確実にを行うため、評価の意義の周知と精度を向上させる。
H30	自治体間ベンチマーキングの調査・研究	進捗度	
H31	ベンチマーキングの試験的導入 事務事業評価外部評価への民間活力の導入	進捗度	